

大和中央道他4路線の廃止 都市計画(案)説明会概要(5/8)

日 時:平成24年10月3日(水)19時00分～20時00分
場 所:奈良市平松一丁目 京西公民館 平松分館
出席者:約33名

[主な質疑応答]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の廃止)に関すること

- 現県立奈良病院から南へ計画している大和中央道の都市計画を廃止するのではなく2車線で整備することも考えていただきたい。
→広域的な幹線道路ネットワークで考えると、4車線の都市計画道路は必要ないため、廃止と考えている。2車線での整備は、地域内交通を担う道路をどう考えるかということになるので、市の役割と考えている。
- 広域幹線道路の都市計画の廃止よりも先に、地域から新病院へのアクセス道路について検討すべきである。順番が逆であり、それを踏まえて住民と話をしないといつまで経っても堂々巡りである。
- 広域幹線道路の廃止は仕方ないと思う。
- 大和中央道の廃止はやむを得ない。
- 今の時代は高度経済成長の頃とは違うので、大和中央道は廃止されても仕方がない。

2.地区内道路の整備に関すること

- 大和中央道の廃止の前に国道308号の対策(側溝の蓋かけなど)について検討してほしい。
第二阪奈道路の側道が、奈良国際ゴルフ場の手前(宝来トンネルの南側)で途切れている。側道を阪奈道路までつなげれば、通過交通が国道308号に集中することはなくなると考えている。
→国道308号の幅員が狭く、歩行者等が危険である状況は認識している。
大和中央道は、広域的な幹線道路ネットワークとして検証した結果、廃止と判断している。
県としては、地域内道路に流入している通過交通に幹線道路を通ってもらうよう、幹線道路の整備に重点投資している。
地域内交通の課題解決は、主に市の役割と考える。ただ、平松地区の方々が新病院に行くには、西ノ京駅から地域の市道を利用すると考えられるため、現在、市と一緒に歩行者の安全対策等を検討している。
- 平松地区には、通行の課題を抱えている箇所がいくつかある。
国道308号のひばりヶ丘付近の通学路の安全対策や近鉄尼ヶ辻駅から現県立なら病院間の拡幅など、大和中央道を整備しないことで余る県予算を、生活道路である国道308号に回してほしい。
→県としては大和中央道を4車線の広域道路としては整備しないと整理している。地域内交通の処理は、県と市の役割分担から言えば、市の方で検討し整備をしてもらいたいと考えている。
- 市は県と比べて予算規模が小さいので、市では生活道路の整備は進まないのではないかと。

→県に予算が余っているわけではない。県と市の役割分担はきちんと考えていきたい。

○今日の説明会は広域道路の廃止が主で、地域内道路の整備は趣旨と違うと感じる。

地域内道路の整備については別途説明会があると考えてよいのか？

→地域内交通についての課題は、奈良市が中心に考えてもらいたいと説明させてもらっている。

○国道308号の整備に関して、当地区から県に要望を提出している内容を把握しているか。

→要望は奈良土木で受けており、検討しているところである。

○用地買収して拡幅する考えはなかったのか。

→用地買収による拡幅は考えていないかった。

県としては、地域内に通過交通が入らないよう、車は幹線道路を走ってもらうことをまず考えている。地域内の道路整備については、歩行者等の安全を確保するためには歩車分離等の対策が考えられる。実施するためには地域のご協力が必要であるので、対策案を自治会やその隣接の方々に提案し、相談しながら進めていきたい。

3.その他

○当地区から新病院へのアクセス道路について新奈良病院建設室より説明してほしい。

→新病院へのアクセス道路として新たに石木城線をアクセス道路として都市計画決定する予定である。

○新病院へのアクセスについて、郡山方面や奈良市西部からは検討しているが、東からのアクセスは検討されていない。唐招提寺や西ノ京周辺の東西の道路は、幅員が狭く一方通行等の規制がかかっているところも多い。

○地域内からの新病院へのアクセス道路について懸念を抱いているということを伝えておく。

○平成25年から病院の工事を始めるという説明があったが、全く聞いていない。新規都市計画決定の道路（石木城線および高山富雄小泉線）だけで病院を開業することは出来ない。

→9月議会で、病院の造成工事については、平成25年秋頃から行いたいと報告している。詳細な工程はまだ不明だが、着工の際には、またご説明させていただく。